

保護者 各位

日進市教育委員会 教育長 岩田 憲二

令和5年度全国学力・学習状況調査結果について（お知らせ）

本年度当初に、全国学力・学習状況調査が行われ、小学校6年生は国語、算数の学力調査と、児童生徒の学習意欲や生活習慣等についての質問紙による調査が行われました。その結果が文部科学省より公表されましたので、本校の概要を、日進市教育委員会がまとめた市全体のものとともにお知らせいたします。調査結果を今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

なお、この調査は学力の特定の一部分を測るものであり、学力のすべてを測るものではないことをご理解ください。

1 日進市全体の概要

小学校6年生 国語、算数ともに、全国・愛知県の平均正答率より、やや高いという結果でした。

国語

【優れている点】

◎「話すこと・聞くこと」における「思考力・判断力・表現力等」に関わる問題の正答率が優れていました。

【課題となる点】

● 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することについて、課題が見られました。

今後も、図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章について授業で扱っていきます。また、図表やグラフなどを用いると、自分自身の考えを深めやすく、さらに、読み手にも理解できるものになることを実感できるような学習を推進していきます。

算数

【優れている点】

◎「数と計算」や「図形」、「変化と関係」の領域における「知識・技能」に関わる問題の正答率が優れていました。

【課題となる点】

● 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することについて、課題が見られました。

三角形の面積を求めるために必要な底辺と高さの關係に着目し、三角形の底辺や高さと面積の關係を基に面積の大きさが判断できるように指導をしていきます。

質問紙

これまで同様、規則正しい生活をしている割合が高く、そのような児童は、規範意識、学習意欲、自己肯定感も高い傾向が出ています。

また、自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う児童、家で自ら計画を立てて勉強をする児童、読書が好きな児童、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる児童など、物事を前向きに捉えることができる児童ほど、各教科の平均正答率が高い傾向があります。